

河内三十三所御詠歌集

順番	寺院名	地名	ご詠歌
1	岩戸山	南部町本郷	久かたの 天の岩戸の 山よりも 今日明けそむる 四方(よも)の山々
2	圓蔵院	南部町南部	高瀬さす つなで苦しむ 世のわざを 見れば無常の おこの山かな
3	大寿院	南部町本郷	白雲が 山より山へ たなびきて みのりの花の 古寺の内
4	慈眼寺	南部町中野	名にしおう 大慈大悲の 山にきて 拝む仏の 頼もしきかな
5	松岳院	南部町中野	この寺の 仏は人を 救はなん 西の松山 見るぞ恋しき
6	長谷寺	身延町下山	ここに来て その名を問えば 皆人が おこす菩提の 山と云うなり
7	龍雲寺	身延町下山	いざさらば 契り結ばん 滝の糸 花のおかべに 続く三つ峰
8	長泉寺	身延町下山	清水の 流れも長き 泉寺 汲みて心の 塵もすすがん
9	天倫寺	身延町下山	滝つ瀬の 巖(いわお)の上に 居ますらん 御影あらたに いつか拝まん
1 0	青原院	身延町西嶋	濁りぬる 心もうしや 富士川の 濁らば富士の 雪は映らじ
1 1	妙現寺	富士川町(旧鯉沢)鬼島	草も木も 救はんための 鬼嶋の 山のゆわいに 出でし御仏
1 2	善応寺	市川三郷町楠甫	極楽の 心地こそすれ この寺の 四方(よも)の景色は あかぬ涼しさ
1 3	藤居寺	市川三郷町落居	逆しまに 枝さしかわす 藤居寺 春風吹けば 紫雲たなびく
1 4	昌寿院	市川三郷町岩間	村の名も 云はば岩間の 岩つつじ 老いて頼まば 手向けこそすれ
1 5	高前寺	市川三郷町鴨狩津向	影うつる 空をもあらう 富士川の 清き心に いつかならなん
1 6	慈観寺	身延町道	西東 山のあいより 見渡せば 北と南へ 映る沢水
1 7	方外院	身延町瀬戸	淵は瀬と かわるともこの 瀬戸むらの 大慈の誓い 頼もしきかな
1 8	円通寺	身延町宮木	ありがたや よだの泉の 御心で この補陀山(ほださん)を 開き始めし

19	常幸院	身延町常葉	枯木にも 花咲く誓い 頼もしや まして常葉の 里の御仏
20	慈照院	身延町下部	後の世を なお頼もしや この世にて 人を助くる 薬湯(くすりゆ)のもと
21	静仙院	身延町帯金	苔衣(こけごろも) きたる巖の 山の腰 廻りめぐりて 帯金(おびかね)の寺
22	接心庵	身延町和田	迷いぬる 心の闇を 映え照らす 拝むみ寺の 赤石の山
23	常安寺	南部町内船上	足びきの 山ふところの 内なれば 安からざらん 寺とこそ見る
24	ほうなん (法雲庵か)	南部町内船	富士川を 下るいかだの 法(のり)の雲 寺ののきばの 山よりぞ見る
25	長光院	南部町井出	西行の その名を残す 松見れば 昔を思う 井出村の寺
26	観音寺	南部町万沢大城	この寺の 往き来のもとに 千代よろず 沢の流れの すまんかぎりは
27	慈雲寺	南部町富士池ノ山	云い伝う 池の昔の あわれさよ 南無観音と 唱えこそする
28	法雲寺	南部町富士徳間	富士川 弘誓(ぐせい)の舟の ともの綱 徳間において 彼(か)の岸のもと
29	玉泉寺	南部町富士鯨野	清からん 人は結ばん 流れゆく 玉の泉の 色やかはらん
30	龍徳寺	南部町富士御堂	篠井山 白鳥だけを 打ちながめ 心静かに 拝む御仏
31	きいなん庵	南部町富士御堂	六道の 巷(ちまた)に建つる 御堂(みどう)村 かねて願いし 道にいざなみ
32	光雲寺	南部町富士坂下	軒近く 重なる山の 松の風 たえぬみのりの 声とこそ聞け
33	正法寺	南部町富士峰	阿耨多羅(あのかたら) 三十三ヶ所 納め来て 正(まさ)しく法(のり)の 道にこそ 入る
打止	観智院	南部町富士	寺々を めぐり納めて 慈光山 心すずしく 登りてぞ見る 今までは 親と頼みし おゆずりを ぬぎて納むる 観智院かな (「おゆずり」は「おいずる」か?)

* 2011年1月、「河内三十三所御詠歌集」に基づき作成。